



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月10日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL <http://www.jorudan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	2,088	△9.2	255	△25.2	214	△37.4	117	△44.9
29年9月期第2四半期	2,299	2.5	341	2.2	342	7.8	213	21.0

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 97百万円(△61.7%) 29年9月期第2四半期 255百万円(64.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	22.94	—
29年9月期第2四半期	41.18	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	5,507	4,652	84.3
29年9月期	5,577	4,621	82.7

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 4,641百万円 29年9月期 4,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	13.00	13.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	4,100	△4.4	400	△12.7	370	△23.1	210	△37.7	40.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年5月10日)公表しました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	5,255,000株	29年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	124,443株	29年9月期	124,443株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	5,130,557株	29年9月期2Q	5,189,162株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年10月1日～平成30年3月31日）におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が続いてまいりましたが、一方で海外経済の不確実性等に留意が必要な状況となってまいりました。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は概ね横ばいの傾向となっておりますが、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高については前年同四半期（平成28年10月1日～平成29年3月31日）と比べ増加傾向となりました。また、1世帯当たりのインターネットを利用した支出についても前年同四半期と比べ増加となりました。このような中、スマートフォンの更なる普及（特にSIMフリースマートフォンの普及）に加え、IoT（モノのインターネット）の進展やAI（人工知能）技術の進化等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト）の検索回数は平成30年3月には月間約2億2,900万回となりました。また、当該サービスの月間利用者数（無料サービスを月に1回以上ご利用いただいた方及び有料会員の方の合計）は当第2四半期連結累計期間においては約1,400万人となっております、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,088,743千円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は255,237千円（前年同四半期比25.2%減）、経常利益は214,836千円（前年同四半期比37.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117,678千円（前年同四半期比44.9%減）という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメントの売上高の減少がマルチメディア事業セグメントの売上高の増加を上回ったこと等により、全体として前年同四半期と比べ減少いたしました。これに加え、営業外費用の増加や、営業外収益及び特別利益の減少等もあり、利益につきましても減少いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業では、モバイル向け有料サービスや旅行関連及びグルメ関連の事業における売上高が減少し、乗換案内事業全体として売上高は前年同四半期と比べ減少いたしました。

その結果、乗換案内事業全体としては売上高1,957,279千円（前年同四半期比11.2%減）、セグメント利益353,861千円（前年同四半期比27.3%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版関連の事業が順調に推移し、売上高は前年同四半期と比べ3倍強となりました。その影響で、損益面でもセグメント利益の計上に至りました。

それらの結果、売上高74,470千円（前年同四半期比220.1%増）、セグメント利益12,910千円（前年同四半期は11,780千円の損失）となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等の事業におきましては、案件の受注・納品が順調に推移したこと等により、前年同四半期と比べ売上高は増加いたしました。また、費用面でも改善が進み、利益につきましても増加いたしました。

それらの結果、売上高89,607千円（前年同四半期比12.9%増）、セグメント利益23,830千円（前年同四半期比356.4%増）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成29年9月末）と比較しますと、資産は69,810千円減の5,507,668千円、負債は100,880千円減の854,698千円、純資産は31,069千円増の4,652,970千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、79,695千円減の4,313,167千円となりました。これは、現金及び預金が143,735千円減の3,306,970千円、前渡金が39,057千円減の183,109千円となった影響が、受取手形及び売掛金が143,752千円増の668,463千円となった影響を上回ったこと等によるものです。現金及び預金の減少は、固定資産の取得や、配当金、賞与、法人税等の支払等によるものです。前渡金の減少は、旅行関連の仕入に係る前渡金が減少したこと等によるものです。受取手形及び売掛金の増加は、多くの企業や自治体等の年度末となるため3月の売上高が増加すること等によるものです。

固定資産につきましては、9,884千円増の1,194,501千円となりました。これは、有形固定資産が14,760千円減の215,312千円、無形固定資産が1,956千円増の120,589千円、投資その他の資産が22,688千円増の858,599千円となったことによるものです。有形固定資産は、主に償却が進んでいることによりやや減少いたしました。無形固定資産は、ソフトウェアの取得等の一方で、償却も進み、全体としては大きな金額の変動はありませんでした。投資その他の資産は、敷金及び保証金や長期貸付金の増加等が、持分法適用会社に係る持分相当額の減少等を上回り、全体としてやや増加いたしました。

負債は、流動負債につきましては、95,551千円減の846,065千円となりました。これは、前受金が107,252千円減の368,176千円、賞与引当金が39,950千円減の36,900千円となった影響が、支払手形及び買掛金が35,246千円増の209,964千円、未払法人税等が30,149千円増の99,419千円となった影響を上回ったこと等によるものです。前受金の減少は、旅行関連の売上に係る前受金が減少したこと等によるものです。賞与引当金の減少は、主に冬の賞与の支払によるものです。支払手形及び買掛金の増加は、3月の売上高の増加に対応した売上原価の増加等によるものです。未払法人税等の増加は、前連結会計年度の後半において利益が減少し、前連結会計年度末の未払法人税等が減少していたこと等によるものです。

固定負債につきましては、5,329千円減の8,633千円となりました。これは、繰延税金負債が5,247千円減の817千円となったこと等によるものです。繰延税金負債の減少は、主に研究開発費損金不算入額の増加によるものです。

純資産は、株主資本につきましては、50,981千円増の4,589,051千円となりました。これは、利益剰余金が50,981千円増の4,123,499千円となったことによるものです。利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益が剰余金の配当を上回ったことによるものです。

その他の包括利益累計額につきましては、21,710千円減の52,444千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が13,240千円減の24,266千円、為替換算調整勘定が8,470千円減の28,178千円となったことによるものです。

非支配株主持分につきましては、1,799千円増の11,474千円となりました。これは、対象となる連結子会社における利益の発生によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ145,835千円減の3,260,009千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは11,799千円の収入（前年同四半期比90.4%減）となりました。

前年同四半期と比べての変動の要因は、税金等調整前四半期純利益が136,808千円減の215,652千円、賞与引当金の減少額が39,370千円増の39,950千円、前受金の減少額が44,506千円増の107,252千円、仕入債務の増加額が25,502千円減の33,277千円となった影響が、売上債権の増加額が79,458千円減の143,752千円、法人税等の支払額が76,759千円減の54,308千円となった影響を上回ったこと等です。

賞与引当金の減少額が増えた主要因は、前年同四半期と比べ賞与引当金繰入額が減少したことです。前受金の

減少額が増えた主要因は、旅行関連の売上に係る前受金が減少したことです。売上債権及び仕入債務の増加額が減った主要因は、前年同四半期と比べ売上高及び売上原価が減少したことです。法人税等の支払額が減った主要因は、前連結会計年度の後半において利益が減少しており、前連結会計年度末において未払法人税等が減少していたことです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは74,174千円の支出（前年同四半期比2.3%減）となりました。

前年同四半期と概ね同程度となった要因は、前年同四半期に投資有価証券の売却による収入が27,000千円だったものが無くなり、逆に前年同四半期には無かった長期貸付けによる支出が20,000千円となった影響と、有形固定資産の取得による支出が28,454千円減の9,539千円となり、前年同四半期に短期貸付けによる支出が25,000千円だったものが無くなった影響が、概ね同程度となったこと等です。

有形固定資産の取得による支出は、特に工具、器具及び備品について、当第2四半期連結累計期間には取得をあまり行っておらず、減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは66,604千円の支出（前年同四半期比56.7%減）となりました。

前年同四半期と比べての変動の要因は、前年同四半期に自己株式の取得による支出が81,674千円だったものが無くなったこと等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績を踏まえ、平成29年11月9日に公表いたしました平成30年9月期（平成29年10月1日～平成30年9月30日）通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成30年5月10日）公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,450,705	3,306,970
受取手形及び売掛金	524,711	668,463
商品及び製品	5,598	27,001
仕掛品	10,875	3,705
原材料及び貯蔵品	4	85
前渡金	222,167	183,109
繰延税金資産	47,996	36,116
その他	140,168	97,592
貸倒引当金	△9,364	△9,877
流動資産合計	4,392,862	4,313,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,901	50,537
機械装置及び運搬具（純額）	2,661	7,228
工具、器具及び備品（純額）	85,710	71,900
土地	87,799	85,646
有形固定資産合計	230,072	215,312
無形固定資産		
のれん	1,959	-
ソフトウェア	113,760	118,091
その他	2,913	2,498
無形固定資産合計	118,633	120,589
投資その他の資産		
投資有価証券	571,127	538,648
敷金及び保証金	221,692	244,177
その他	54,826	96,509
貸倒引当金	△11,735	△20,735
投資その他の資産合計	835,911	858,599
固定資産合計	1,184,616	1,194,501
資産合計	5,577,479	5,507,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	174,718	209,964
未払費用	74,680	64,641
未払法人税等	69,269	99,419
未払消費税等	17,998	23,567
前受金	475,428	368,176
賞与引当金	76,850	36,900
役員賞与引当金	6,000	1,800
返品調整引当金	10,524	10,957
ポイント引当金	3,123	3,019
受注損失引当金	3,534	-
その他	29,489	27,620
流動負債合計	941,616	846,065
固定負債		
ポイント引当金	2,498	2,416
繰延税金負債	6,064	817
その他	5,400	5,400
固定負債合計	13,962	8,633
負債合計	955,578	854,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,291	287,291
利益剰余金	4,072,517	4,123,499
自己株式	△99,115	△99,115
株主資本合計	4,538,069	4,589,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,507	24,266
為替換算調整勘定	36,648	28,178
その他の包括利益累計額合計	74,155	52,444
非支配株主持分	9,674	11,474
純資産合計	4,621,900	4,652,970
負債純資産合計	5,577,479	5,507,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	2,299,623	2,088,743
売上原価	1,228,120	1,155,468
売上総利益	1,071,502	933,274
返品調整引当金戻入額	6,947	10,524
返品調整引当金繰入額	688	10,957
差引売上総利益	1,077,761	932,841
販売費及び一般管理費	736,325	677,604
営業利益	341,436	255,237
営業外収益		
受取利息	374	1,256
受取配当金	5,896	896
為替差益	6,244	-
受取事務手数料	2,074	166
雑収入	716	249
営業外収益合計	15,305	2,568
営業外費用		
持分法による投資損失	12,009	19,302
投資事業組合運用損	1,153	1,150
為替差損	-	13,216
貸倒引当金繰入額	-	9,000
雑損失	589	300
営業外費用合計	13,751	42,969
経常利益	342,990	214,836
特別利益		
固定資産売却益	479	815
投資有価証券売却益	9,500	-
特別利益合計	9,979	815
特別損失		
子会社株式評価損	507	-
子会社清算損	0	-
特別損失合計	507	-
税金等調整前四半期純利益	352,461	215,652
法人税等合計	139,742	96,174
四半期純利益	212,718	119,478
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△965	1,799
親会社株主に帰属する四半期純利益	213,683	117,678

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	212,718	119,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,196	△1,320
為替換算調整勘定	14,755	△8,436
持分法適用会社に対する持分相当額	23,476	△11,952
その他の包括利益合計	42,427	△21,710
四半期包括利益	255,146	97,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,111	95,967
非支配株主に係る四半期包括利益	△965	1,799

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	352,461	215,652
減価償却費	59,041	49,022
のれん償却額	1,959	1,959
持分法による投資損益(△は益)	12,009	19,302
貸倒引当金の増減額(△は減少)	764	9,513
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△6,259	433
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△18	△186
賞与引当金の増減額(△は減少)	△580	△39,950
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,040	△4,200
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△1,834	△3,534
受取利息及び受取配当金	△6,270	△2,152
売上債権の増減額(△は増加)	△223,210	△143,752
前受金の増減額(△は減少)	△62,745	△107,252
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,616	△14,314
仕入債務の増減額(△は減少)	58,780	33,277
前渡金の増減額(△は増加)	43,371	39,057
未払費用の増減額(△は減少)	△1,414	△10,022
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,002	5,568
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,500	-
子会社株式評価損	507	-
固定資産売却損益(△は益)	△479	△815
投資事業組合運用損益(△は益)	1,153	1,150
子会社清算損益(△は益)	0	-
その他	25,882	15,884
小計	247,192	64,640
利息及び配当金の受取額	6,371	1,468
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△131,068	△54,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,495	11,799

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,503	△24,303
定期預金の払戻による収入	19,803	21,603
有形固定資産の取得による支出	△37,993	△9,539
有形固定資産の売却による収入	1,639	2,766
無形固定資産の取得による支出	△31,822	△31,521
投資有価証券の売却による収入	27,000	-
短期貸付けによる支出	△25,000	-
短期貸付金の回収による収入	2,000	-
長期貸付けによる支出	-	△20,000
敷金及び保証金の差入による支出	△6,029	△13,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,906	△74,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△81,674	-
配当金の支払額	△67,496	△66,604
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,481	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,652	△66,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,566	△16,854
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△93,497	△145,835
現金及び現金同等物の期首残高	3,285,868	3,405,844
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,192,371	3,260,009

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,203,533	23,263	2,226,797	72,825	—	2,299,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	734	—	734	6,536	△7,270	—
計	2,204,268	23,263	2,227,531	79,362	△7,270	2,299,623
セグメント利益 又は損失(△)	486,880	△11,780	475,099	5,221	△138,884	341,436

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△138,884千円には、のれん償却額△1,959千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△136,925千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,957,171	74,470	2,031,642	57,100	—	2,088,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	107	—	107	32,506	△32,613	—
計	1,957,279	74,470	2,031,749	89,607	△32,613	2,088,743
セグメント利益	353,861	12,910	366,771	23,830	△135,365	255,237

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△135,365千円には、のれん償却額△1,959千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,405千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。